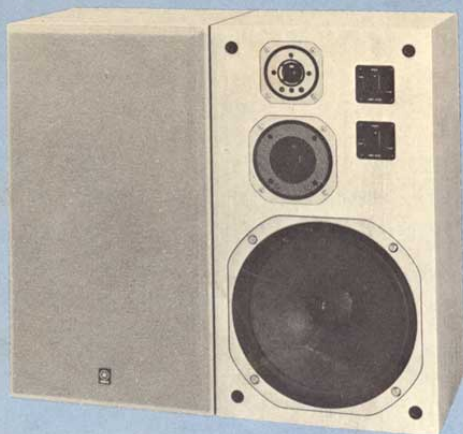


YAMAHA NATURAL SOUND SPEAKER SYSTEM

NS-600 シリーズ
取扱説明書
NS-690・NS-670



NS-690



NS-670

NS-600シリーズ(NS-670, NS-690)は、ヤマハがナチュラルサウンドシリーズの開発以来一貫して追求しつづけてきた“音楽の心を再現する”というテーマに新しい内容を吹込んだNS-600シリーズの最高峰に位するシステムです。

リッチでさわやかな高音再生を可能としたソフトドームユニットを中、高音に採用し、バランスよく品位の高い音質は、ご愛用の皆様にご満足いただけるものと思います。

NS-670・690をご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みくださいますようお願いいたします。

●ご使用上の注意

- NS-690・670のサラネットは脱着可能になっています。サラを取外す時にはサラの下部の両端を持って静かに手前に引いて下部を外すし、次に上部を外してください。なおこの際、取付部品を損傷しないようにご注意ください。
- ご使用になるアンプにより出力端子の様子が異なることがありますので、アンプの取扱説明書で確認してください。

●アンプとの接続

スピーカー背面の入力端子とアンプのスピーカー出力端子を付属のスピーカーコードで接続します。このときアンプの電源は切っておいてください。

■接続方法

スピーカー背面の入力端子はプッシュターミナル式になっていますので右の図を参照してください。

左チャンネルのスピーカーはアンプのL端子へ、右チャンネルのスピーカーはアンプのR端子へ極性(+)・(-)を確認して接続します。極性をまちがえると低音感のない不自然な再生音になってしまいます。付属のスピーカーコードには片側に銀ラインが入っています。銀ラインの入っているコードをアンプ、スピーカーの+端子へ、入っていないコードを一端子へ接続してください。

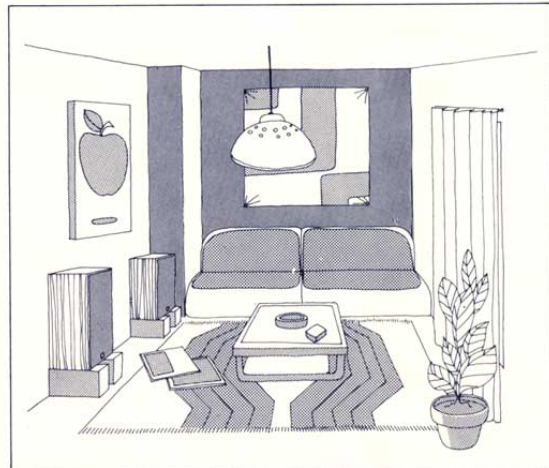
※NS-600シリーズのインピーダンスは8Ωです。トランジスタアンプの場合は、インピーダンスに関係なく出力端子に接続できますが、真空管アンプの場合は必ず8Ωの出力端子に接続してください。

●設置場所

- 床やタタミの上に直接置きますと、低音域が影響をうける場合がありますので、しっかりした台や棚の上などに設置するか、ブロックなどの上のせてください。
- スピーカー背面は硬い壁などに近づけて設置し、正面に向い合う壁やガラス戸などには、吸音効果のよい厚手のカーテンなどを取付けるとリスニングルームとして最適です。
- スピーカーは縦にも横にも設置できますが、その中心が聴く時の耳の高さになるように設置するのが最良です。
- レコードプレーヤーと同じ台や棚の上に設置するとハウリングを起すことがありますのでご注意ください。
- 直射日光のあたるところや湿気の多いところは、できるだけ避けるようにしてください。

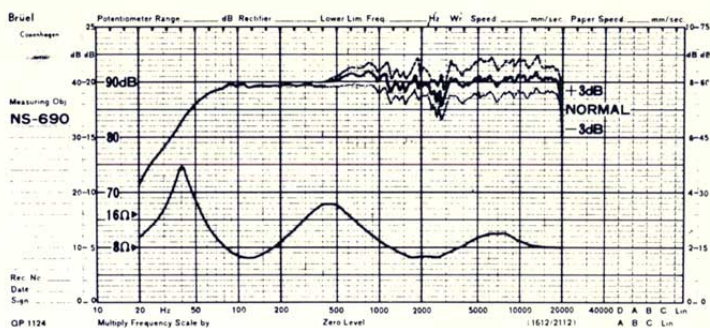
- NS-600シリーズのスピーカーに接続するアンプの最大出力は歪率の点で大きい程良好な音質が得られますが、これらのスピーカーシステムの許容入力以上の出力をもつアンプを使用される場合は、スピーカーに最大許容入力以上の過大入力が入らないようにご注意ください。一般にアンプのボリューム位置は真中で最大出力の70%位出ています。

赤ターミナルが+、黒ターミナルが-です。下部のレバーを指で押し外側の穴と内側の穴を合わせ、コードの先端を差込み、レバーから指を離せば接続完了です。

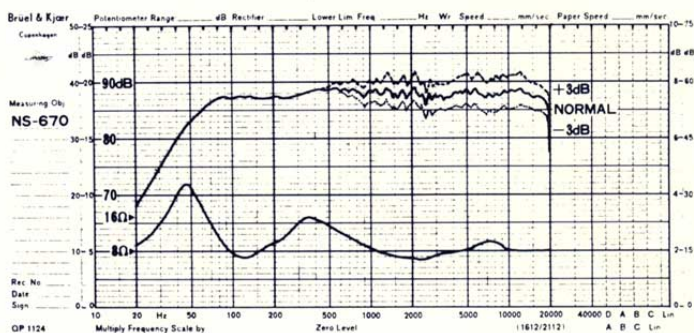


●NS-600シリーズの特性

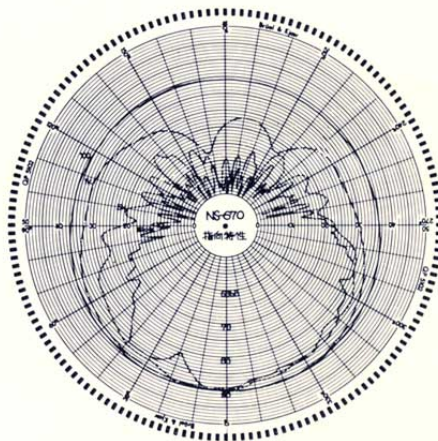
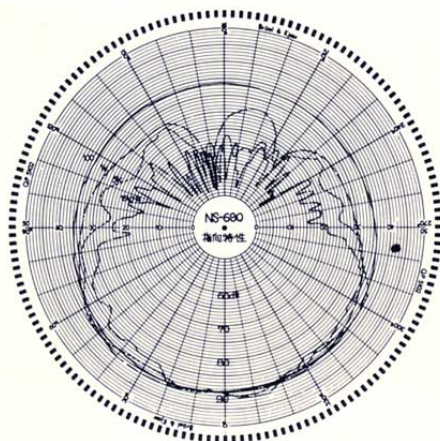
NS-690レベルコントロール特性・インピーダンス特性



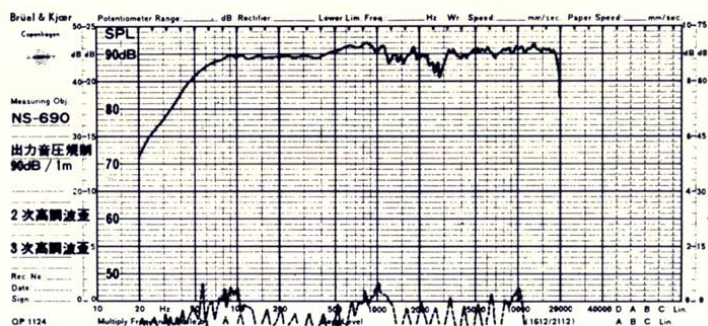
NS-670レベルコントロール特性・インピーダンス特性



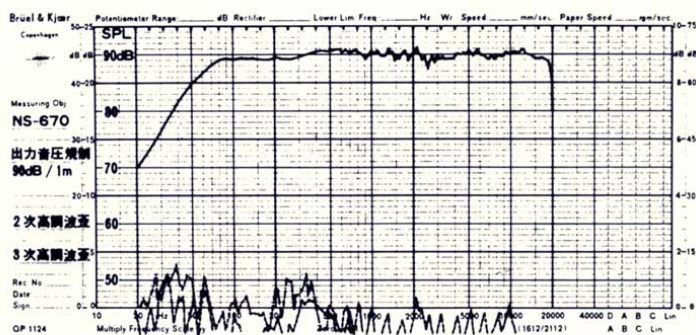
指向特性



NS-690周波数特性・歪率特性



NS-670周波数特性・歪率特性



●NS-600シリーズの仕様

	NS-690	NS-670
形式	3ウェイ密閉型	3ウェイ密閉型
ウーハー	30cmコーン型, JA-3056	25cmコーン, JA-2501A
スクーカー	7.5cm ソフトドーム型, JA-0701	6.0cm ソフトドーム型, JA-0601
ツイーター	3.0cm ソフトドーム型, JA-0509	3.0cm ソフトドーム型, JA-0509
クロスオーバー周波数	800Hz, 6,000Hz, 12dB/oct	800Hz, 6,000Hz, 12dB/oct
最低共振周波数	40Hz	45Hz
インピーダンス	8Ω	8Ω
出力音圧レベル	90dB / 1m	88dB / 1m
最大許容入力	60W	50W
再生周波数帯域	35Hz ~ 20KHz	40Hz ~ 20KHz
寸法(H×W×D)	630×350×312(mm)	577×320×272(mm)
重量	22kg	19kg

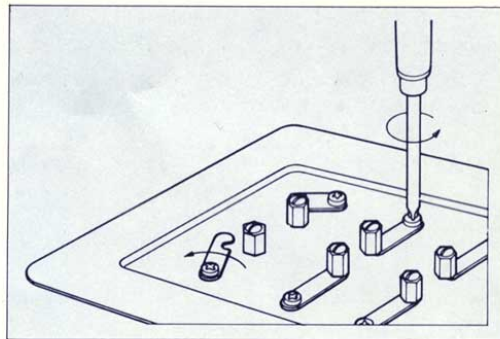
※上記の規格及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

●マルチチャンネルアンプでの使い方

NS-690にはマルチチャンネル用端子が設けられておりますから、2チャンネル、3チャンネルのマルチチャンネルアンプでのしむことができます。

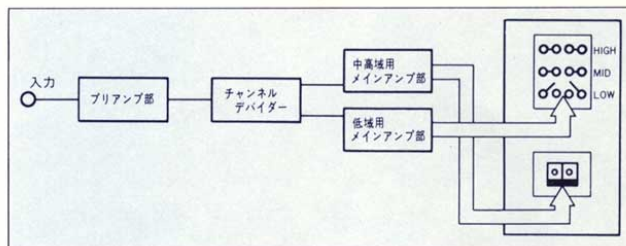
■マルチチャンネル用端子のHIGH、MID、LOWの各端子のキーを
 ⊕ドライバーでネジをゆるめ、キーを端子から外すと各スピーカーはネットワークから切り離されて単独となります。(右図参照)

■クロスオーバー周波数は、
 LOW-MID 600~800Hz 12dB/oct
 MID-HIGH 5K~6KHz 12dB/oct が適当です。



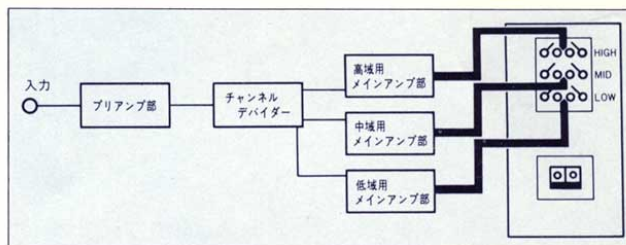
■2チャンネルの場合

2チャンネルの場合は右図のように、ウーハーチャンネルとスクーアー・ツイーターチャンネルに分けるのがふつうです。右図を参照の上接続してください。

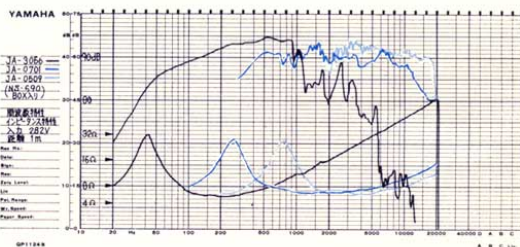


■3チャンネルの場合

右図のように接続してください。



■NS-690ユニット別周波数特性



★マルチチャンネルご使用上のご注意

ご使用になるアンプやチャンネルディバイダーなどによって、極性または、位相が変わることがありますのでそれぞれの取扱説明書などでお確かめください。またメインアンプのスイッチ ON、OFF によって発生するノイズは、スピーカー特にスクーアー、ツイーターに悪影響を与えますので、充分ご注意ください。



YAMAHA

日本楽器製造株式会社

本社・工場 〒430・浜松市中区中沢町10-1
TEL・0534(61)1111

東京支店 〒104・東京都中央区銀座7-9-18
/パールビル内
TEL・03(572)3111

銀座店 〒104・東京都中央区銀座7-9-14
TEL・03(572)3111

渋谷店 〒150・東京都渋谷区道玄坂2-10-7
TEL・03(463)4221

池袋店 〒171・東京都豊島区南池袋1-24-2
TEL・03(981)5271

横浜店 〒220・横浜市西区南幸2-15-13
TEL・045(311)1201

相鉄店 〒220・横浜市西区南幸1-5-1
/相鉄ジョイナス内
TEL・045(311)6361-4

千葉店 〒280・千葉市中央4-2-1
/まつだやビル内
TEL・0472(24)6111

大阪支店 〒564・吹田市新野原下1-16
TEL・06(877)5151

心斎橋店 〒542・大阪市南区心斎橋筋2-39
TEL・06(211)8331

梅田店 〒530・大阪市北区梅田1
/阪神百貨店5階
TEL・06(345)4731

神戸店 〒650・神戸市生田区元町通り2-188
TEL・078(321)1191

四国店 〒760・高松市丸亀町8-7
TEL・0878(51)7777

名古屋支店 〒460・名古屋市中区錦1-18-28
TEL・052(201)5141

九州支店 〒812・福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL・092(431)2151

福岡店 〒810・福岡市中央区天神1-11
/福岡ビル内
TEL・092(721)7621

小倉店 〒803・北九州市小倉区魚町1-1-1
TEL・093(531)4331

北海道支店 〒060・札幌市中央区南三条西4-12
/エイトビル内
TEL・011(281)6111

仙台支店 〒980・仙台市1番町2-6-5
TEL・0222(27)8511

広島支店 〒730・広島市紙屋町1-1-18
TEL・0822(48)4511

浜松支店 〒430・浜松市鍛冶町122
TEL・0534(54)4111

海外支店 ロスアンゼルス・メキシコ・ハンブルグ・
シンガポール・フィリピン